

平成 27・28 年度 土木学会複合構造委員会 第 4 回幹事会議事録

日 時：平成 27 年 11 月 4 日（水）14:00～17:10

場 所：土木学会 D 会議室

出席者：奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，池田幹事，~~夫久保幹事~~，葛西幹事，斉藤(成)幹事，
齋藤(隆)幹事，~~下村幹事~~，平幹事，中村幹事，広瀬幹事，牧幹事，~~松本幹事~~，溝江幹事，久
米村事務局

配布資料：

資料 幹 4-0	平成 27・28 年度第 4 回複合構造委員会幹事会議事次第
資料 幹 4-1	平成 27・28 年度第 3 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
資料 幹 4-2	第 11 回複合・合成構造シンポジウム
資料 幹 4-3	論文集特集号準備状況
資料 幹 4-4-1	平成 27 年度全国大会研究討論会（複合）
資料 幹 4-4-2	平成 27 年度年全国大会共通セッション 報告
資料 幹 4-5	出版関連報告
資料 幹 4-6-1	新規委員会（FRP 接着による補修・補強の指針化）の準備状況について
資料 幹 4-6-2	新規委員会（複合構造に関する収縮・クリープ）の立ち上げについて
資料 幹 4-7-1	H101 複合構造標準示方書小委員会
資料 幹 4-7-2	H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会委員会
資料 幹 4-7-3	H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会
資料 幹 4-7-4-1	H181 合成床版指針作成小委員会
資料 幹 4-7-4-2	H181 合成床版指針作成小委員会 意見照会表
資料 幹 4-7-5	H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
資料 幹 4-7-6	H213 構造物の更新・改築技術研究小委員会
資料 幹 4-7-7	H214 複合構造の防水・排水研究小委員会
資料 幹 4-8-1	平成 27 年度功績賞候補推薦について
資料 幹 4-8-2	国際貢献賞推薦
資料 幹 4-9	平成 27 年度の予算執行状況
資料 幹 4-10-1	H28 年度事業計画・予算案作成依頼状
資料 幹 4-10-2	（様式 2）事業計画・予算調書（案）_複合構造
資料 幹 4-10-3	別紙 1_複合構造
資料 幹 4-11-1	H24-H27 重点研究課題一覧
資料 幹 4-11-2	重点研究課題採択一覧
資料 幹 4-12-1	平成 28 年度全国大会共通セッションテーマ申込み（案）
資料 幹 4-12-2	平成 28 年度全国大会共通セッションテーマの募集
資料 幹 4-12-3	平成 28 年度全国大会特別セッションテーマの募集
資料 幹 4-12-4	27 年度部門別セッション名一覧
資料 幹 4-13-1	日本土木史執筆打合せ資料
資料 幹 4-13-2	日本土木史打合せ
資料 幹 4-14	第 2 回委員会議事次第（案）
資料 幹 4-15	国際センター通信原稿（案）（複合構造委員会）
資料 幹 4-16-1	（お願い）公益増進事業について

資料 幹 4-16-2 (様式 4)「土木学会公益増進資金」助成申請書

資料 幹 4-17-1 S-01_学術交流基金の助成に係る改革案に対する意見・回答

資料 幹 4-17-2 S-02_ (CC3) 各事業実施要綱 (案)

議事内容：

0. 委員長挨拶

奥井委員長より、幹事会開催にあたり挨拶があった。

1. 第 3 回幹事会議事録案の確認 (資料 幹 4-1)

平幹事より、資料に沿って説明があり、以下の修正を行うこととして承認された。

- ・ 8. (2)において、「複合構造に関する」を「複合構造の」と修正する。

2. 第 11 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム (資料 幹 4-2)

溝江幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・ 投稿数は 1 編の辞退があり、最終的に 54 編となった。これに伴い、プログラムのスケジュールを若干修正した。
- ・ シンポジウム当日の発表辞退 (連名者の代理発表も不可) が 1 件あった。該当するセッションにおいて時間を有意義に使ってもらうこととした。
- ・ 優秀講演賞の候補者は、シンポジウム委員会で検討し、後日、幹事会でメール審議する。決定後、12 月に受賞者に賞状を発送する。シンポジウムの開催報告を兼ねて、複合構造委員会の Web 上に公開する。
- ・ シンポジウムへの参加申し込みは現時点で 109 名であり、当日参加でさらに追加となる。
- ・ 書籍の販売促進のために、シンポジウム開催期間中に受付で販売する。
- ・ 現場見学会の参加者は現時点で 27 名である。一般市民からの応募があったが、安全面の観点からお断りした (関東支部の一般市民向けの現場見学会を紹介した)。学生の参加に対しては保険をかけていないので、次回から保険をかけることを検討する。
- ・ 来年度の「第 6 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム」の開催日程は、11 月 10 日 (木) ~ 11 月 11 日 (金) を候補とし、土木学会の会場を予約することとなった。
- ・ シンポジウム委員会は、5 年程度経つので、体制を検討することとなった。新体制については、シンポジウム委員会で検討し、幹事会でメール審議後、複合構造委員会 (12/22) にて決定する。

3. 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造 (資料 幹 4-3)

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・ シンポジウム最終日 (11/6) に、第 2 回編集委員会を開催する予定である。
- ・ 講演集のプレ査読の判定結果を踏まえて、特集号への推薦論文を選定する。
- ・ 発刊 (5 月末) までのスケジュールが確認された。
- ・ 今回より「報告」のカテゴリが新設されたが、「論文」とのバランスが議論になるのではないかという意見があった。

4. 平成 27 年度全国大会・研究討論会 報告

(1) 研究討論会について (資料 幹 4-4-1)

斉藤(成)幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・ 最終日の最後にも関わらず、101 名の参加があり、盛況であったとの報告があった。
- ・ 研究討論会の写真は、幹事会のウェブファイルマネージャーにアップロードされているので、それらを参考に、12/22 の複合構造委員会で報告することとなった。

(2) 共通セッションについて（資料 幹 4-4-2）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった。

- ・共通セッションは，2つのパラレルセッションで開催され，平均参加者数は20数名であった。
- ・来年度は，例年通り，1つのセッションで，通しで開催するのがよいという意見があった。

5. 出版関係（資料 幹 4-5）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった。

- ・書籍の販売状況は，前回からあまり変動はない。
- ・複合構造標準示方書の地方開催の講習会では，示方書のみを販売する。
- ・現時点で，複合構造委員会から来年度の出版計画は出されていないが，教科書「基礎からわかる複合構造－理論と設計－」は，2016年度末に出版される予定である。

6. 新規小委員会案について

(1) 新規委員会（FRP 接着による補修・補強の指針化）の準備状況について（資料 幹 4-6-1）

中村幹事より，資料に沿って説明があった。

- ・「FRP による構造物の補修・補強指針作成小委員会」は第1種委員会とし，活動期間は2016年4月から2年間とする。
- ・委員長，副委員長，幹事の構成案が示された。委員は候補者を検討中とのことであった。鋼構造WGには，施工関係者がいないので，今後，小委員会幹事会で検討することとなった。
- ・委員については，2016年1月に小委員会幹事会を開催して原案を検討し，幹事会，複合構造委員会のメール審議により決定する。
- ・CL101への対応については，設立趣意書をコンクリート委員会へ提出して，説明を行う予定であるが，CL101は，委託により作成された経緯があるので委託者側幹事へも連絡することとなった。
- ・設立趣意書の原案，スケジュール・手続き等が承認されたので，12/22の複合構造委員会において，新委員長あるいは新幹事長より説明をお願いすることとなった。

(2) 新規委員会（複合構造に関する収縮・クリープ）の立ち上げについて（資料 幹 4-6-2）

滝本幹事長より，資料に沿って説明があった。

- ・新規委員会の設置については承認されたが，次のような意見があった。設立に向けて，下村幹事に引き続き検討をいただくこととなった。
 - －小委員会幹事長については，川端氏は長期出張中であるため千々和先生に依頼してはどうか。
 - －小委員会幹事に，池田幹事が追加された。
 - －小委員会の具体的な目標（例えば，調査研究の結果は何につながるのか等）が示されるとよい。
 - －2016年4月から2年間（標準）の活動期間で，小委員会の設立趣意書等を作成していただき，幹事会でメール審議の上，12/22の複合構造委員会で審議してはどうか。

7. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹 4-7-1）

斉藤幹事より，資料に沿って説明があった。

- ・第2回幹事会を12/4に開催する予定で，設立趣旨，コアメンバを検討する。
- ・12/22の複合構造委員会では，委員会の設立に向けた準備状況について報告するが，委員についてはまだ確定していないと思われる。
- ・複合構造標準示方書の講習会について，現状の報告があった。10/30の札幌開催では，参加者40名（販売20部）であった。11/13の大阪開催では，現時点で参加者20名（目標：60名）である。大阪，福岡開催の参加の呼びかけにあたっては，幹事会としても協力することとなった。

- ・講習会の地方開催については、複合構造委員会で報告することとなった。

(2) H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会（資料 幹 4-7-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・第1回小委員会を11月に開催する予定で、調整中とのことであった。

(3) H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会（資料 幹 4-7-3）

平幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・第1回小委員会を8/26に開催し、現状における課題について議論した。
- ・委員の一部に変更があったことが報告された。
- ・第2回小委員会を11/17に開催する予定である。

(4) H181 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会（資料 幹 4-7-4-1, 幹 4-7-4-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・11/27に、圏央道守谷で合成床版の現場見学を行う予定である。
- ・複合構造委員会からの意見照会とその対応案が示された。追加の意見照会があり、対応中とのことであった。意見照会に対しては、小委員会の考えを示す必要はあるが、修正は必須ではない。
- ・意見照会への対応状況については、12/22の複合構造委員会で報告することとなった。
- ・指針案は来週中に脱稿する予定である。講習会は1/15に土木学会講堂で開催する予定である。
- ・指針案の作成に関する今後の課題として、次のような意見があった。
 - 一性能照査型設計に基づく指針案のみでは、実務では使いにくい／使えない場合があるので、実務者が使いやすいような配慮が必要ではないか。
 - 一複合構造標準示方書と各種指針案の位置づけ等が十分に伝わっていないため、幹事会が、指針案の方針・方向性をコントロールできるようにするがよいのではないか。

(5) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会（資料 幹 4-7-5）

斉藤幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・第4回小委員会（2期目）を1/28に開催する予定である。
- ・横山委員（NEXCO 総研）が退任されるので、NEXCO 総研より新委員を紹介いただくこととなった。
- ・H212の活動の一環として、11/6の合成・複合構造シンポジウムにおいて、土木・建築合同のパネルディスカッション「SRC・CFT 構造の現状と課題」を開催する予定である。

(6) H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会（資料 幹 4-7-6）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・第5回小委員会を10/5に開催した。現在、WGに分かれて活動中である。
- ・第6回小委員会は1/24に開催する予定である。
- ・委員の交代があった。金田委員（東日本高速道路）から浅井委員（東日本高速道路）に交代し、佐藤委員（首都高速道路）が新しく参加された。

(7) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会（資料 幹 4-7-7）

溝江幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・第2回小委員会を12月に開催することで調整中で、話題提供を予定している。

8. 平成27年度功績賞候補推薦・国際貢献賞推薦

(1) 平成27年度功績賞の候補者推薦について（資料 幹 4-8-1）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・功績賞候補者については、以下のことを確認した。
 - －年齢は70歳代で、複合構造委員会顧問の中から選出するのがよいが、現在、該当者はいない。
 - －複合構造委員会は歴史が浅いので、顧問としての実績は少なくとも、それ以前の貢献が十分であればよい。例えば、土木学会の理事等を歴任されている場合は推薦しやすい。
- ・平成22年度まで顧問であった園田先生を、功績賞候補として推薦することについて、奥井委員長より、鬼頭先生（大阪市立大学）へ打診していただくこととなった（推薦の締め切り：1/20）。

(2) 平成27年度国際貢献賞等の候補者推薦について（資料 幹4-8-2）

奥井委員長より、資料に沿って説明があった。

- ・複合構造の関係者の中で、国際的な貢献のある、ふさわしい方がいれば推薦する。
- ・国際貢献賞等の候補者推薦については、複合構造委員会へメールで依頼することになった。

9. 平成27年度の予算執行状況（資料 幹4-9）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・現時点の予算の執行状況（残額936,713円／予算額1,113,000円）が確認された。
- ・示方書講習会の地方開催の旅費は、必要な委員に支出する予定である。

10. 平成28年度事業計画及び予算要求調書（資料 幹4-10-1, 幹4-10-2, 幹4-10-3）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・既に提出済みであるが、第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム、鋼コンクリート合成床版設計・施工指針案地方講習会の開催について予算を提案している。
- ・来年度の出版関係は、現時点では教科書以外に予定はない。

11. 平成28年度重点研究課題（資料 幹4-11-1, 幹4-11-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・これまでの応募と採択の経緯を踏まえて、以下のような意見があった。
 - －最近では、1～2つのテーマに絞って採択される傾向にある。
 - －コンクリート、鋼構造、複合構造、構造工学の分野横断で申請してきたが、採択されていない。
 - －採択された場合は、合同委員会を立ち上げることになると考えられる。
 - －「維持管理」に関するテーマは横断的な取り組みが既にあるので、採択されないのではないか。
 - －複合構造が主体となり、他の分野に働きかけるかどうかを検討してはどうか。
 - －平成27年度申請の取りまとめであった、構造工学委員会（名古屋大学中村先生）に再申請するかどうかの打診を検討する。関連情報については、下村幹事に確認することを検討する。
 - －複合構造委員会から申請課題を募集してはどうか。
- ・提出締め切りは1月末であるため、次回の複合構造委員会幹事会（1/25）までに、新規委員会テーマ案（資料 幹2-8-1～幹2-8-15, 幹3-6-2）等を参考に、企画WGで検討することとなった。

12. 平成28年度共通セッション応募（資料 幹4-12-1～幹4-12-4）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・昨年度と同じ内容で、今月末までに提出することとなった。

13. 日本土木史の執筆について（資料 幹4-13-1～幹4-13-3）

奥井委員長より、資料に沿って説明があった。

- ・原稿案については、構造分野以外は、既にそろっている状況とのことであった。

- ・目次案は、藤野先生の案1（幹4-13-1, p.9）となり、委員会ごとに分担執筆する予定である。
- ・執筆の対象期間は1991～2010年であり、複合構造委員会では2005～2010年（5年間）であるため、担当の原稿は約3頁となる。
- ・複合構造委員会の執筆者は、奥井委員長（複合構造関係2頁）、西崎副委員長（新素材関係、1頁）となり、奥井委員長が原稿を取りまとめることとなった。
- ・鋼構造委員会の「鋼構造」の目次案を基本とした「複合構造」の目次案が示され、了承された。
- ・対象期間の複合構造を取り扱うが、論文賞や、受賞した作品（構造物）等も調査する。
- ・複合構造に関連する報告書・代表的な論文等を網羅した、参考文献リストを提示する。

1 4. 第2回複合構造委員会議事次第（資料 幹4-14）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・審議事項に、新体制のシンポジウム委員会、「複合構造に関する収縮・クリープに関する研究委員会」（仮称）を追加する。
- ・報告事項に、「日本土木史」を追加する。
- ・確認のために、複合構造委員会の組織図を示すこととなった。
- ・1/20の締め切りの各賞の候補者推薦については、その他で周知することとなった。

1 5. 次回幹事会および次々回幹事会

滝本幹事長より、説明があった。

(1) 第5回幹事会について

- ・1/25（月）に土木学会で開催し、論文集特集号、平成28年度重点研究課題、年度予算調整等を審議する予定である。

(2) 第6回幹事会について

- ・3/4（金）～3/5（土）に、地方で開催する予定である。1日目に複合構造物の現場見学、2日目に委員会を行う予定で、現場見学・開催場所等を次回の幹事会で検討する。

1 6. その他

(1) 国際センター通信について（資料 幹4-15）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・原稿案は、奥井委員長の確認後に、提出されることとなった。

(2) 公益増進資金の活用について（資料 幹4-16-1, 幹4-16-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・特に意見はなかったため、複合構造委員会としては見送ることとなったことが報告された。

(3) 学術交流基金の助成に係る改革案について（意見照会への回答）（資料 幹4-17-1, 幹4-17-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・既に提出済みであるが、対応状況について報告があった。

(4) 複合構造委員会から出版される技術指針について

斉藤幹事より、説明があった。

- ・渡辺委員より、第1種委員会が作成している技術指針について意見をいただいた。次回の幹事会で審議する。
- ・必要に応じて、渡辺委員に複合構造委員会で説明をいただくことも検討することとなった。

以 上

(記録・文責：中村)